

読書のすゝめ HP版



新任の先生からお勧めの本 第3回

『上昇思考〜幸せを感じるために大切なこと〜』(長友佑都)



私は今まで本を読むということをおぼろげに思っていました。大学で怪我をした時に読む機会がありました。精神的にも弱気になっていた時、この本を読んで、怪我と向き合ってもう一度頑張ろうと思えました。どうせやるなら楽しくやろう、でもやるならやれるだけやってみよう、という気持ちが一番考えさせられる本だと思っので、ぜひ読んでみてください。

長友選手の精神的な強さはどこに由来するのか。世界一にも輝くビッグクラブで感じることはなにか。長友選手の「内側」を明らかにする一冊。

『深夜特急』(沢木耕太郎)



大学生の時に読んで、世界の国々や異文化に興味をもつきっかけになった本です。実際に自分が旅 をしているような気分になれるので、ぜひ読んでみてください。

《旅》には夢とロマンと冒険と・・・非日常へのあこがれがあるように思いますが。

『老人と海』『武器よさらば』『山の音』『雪国』(ヘミングウェイ)



ヘミングウェイの『老人と海』『武器よさらば』が 心に残る本です。学生の頃、面白くて一気に読んでしまいました。今では、アメリカの古典になっています。日本では川端康成の『山の音』『雪国』など、きれいな日本語で書かれているものがあると思います。国内、国外の古典をたくさん読んでみてください。



キューバの老漁夫サンチャゴは、長い不漁にもめげず、小舟に乗り、たった一人で出漁する。残りわずかな餌に想像を絶する巨大なカジキマグロがかかった。4日にわたる死闘ののち老人は勝ったが、帰途サメに襲われ、舟にくくりつけられた獲物はみるみる食いちぎられてゆく……。徹底した外面描写を用い、相手に雄々しく闘う老人の姿を通して自然の厳粛さと人間の勇気を謳う名作。

この作品の筋は実に単純です。老漁師が一人でカジキを釣り上げるが、帰港の間に魚をサメに食べられてしまう。それだけです。しかし、「単純」な話と「簡単」な話は似て非なるもの。この老人にとって、このメカジキとは何だろう。老いてもなお続ける漁とは何なのだろう。そして私たちに与えるものは？ 深く味わい深い作品です。

図書委員募集中!

各HRで委員の選出があったことと思いますが、本好きな皆さん！ぜひ二高図書館活動に参加してみませんか？
掲示板や館内のディスプレイ・POPなど、みなさんのアイデアで楽しく、使える図書館を作りましょう。